

【応募用紙】

1 応募者概要

団体名	(ふりがな:よこはましりつこうがやしろうがっこう) 横浜市立幸ヶ谷小学校		
代表者の 役職・氏名	(ふりがな:すがい ひろゆき) (役職) (氏名) 校長 須貝 広幸	会員数	(平成 30 年 11 月現在) 737名
ホームページ アドレス		活動開始年月	平成 26年 4月
活動範囲 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 学校内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 学校外(高島水際線公園)		
活動分野 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 川・海・水 ② 緑・樹林 ③ 農業 ④ 3R <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 環境教育・学習 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 生物多様性 ⑦ 地球温暖化対策 ⑧ その他()		
活動の目的や ねらい	幸ヶ谷の河川・海に関わる地域の人・生き物・環境とのつながりと、持続可能な社会の担い手を育む活動		
過去に受けた表彰 および受賞年度			

2 最近3年間の主な活動

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、 発行部数等	詳細内容
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「高島水際線公園愛護会」の活動 ○「ハマの海を想う会」の活動への参加 ○総合的な学習の時間の授業において、幸ヶ谷の河川・海の生き物観察を中心とした活動 	4年生	<p>6月 「総合的な学習の時間」で、高島水際線公園で海の生き物観察などの活動を行う。</p> <p>7月 高島水際線公園愛護会への参加 主に高島水際線公園に関わる専門家や地域関係者との協同的に活動を行う。 ゴミ拾いや水辺の生き物観察、魚釣り大会など、「ハマの海を想う会」の活動への参加 野島宿泊体験学習 海の公園 生き物観察 横浜港湾空港技術調査事務所 人工干潟観察 総合的な学習の時間での高島水際線公園 潮入りの池 生き物観察 (通年)</p> <p>10月 <u>海水槽を設置し、今後を見通した水辺の生き物の飼育を始める。</u> <u>これからも大切に育てたいという思いをもって、多様な水辺の生き物の飼育方法を調べ、日常的な観察を行う。</u></p> <p>12月 ステップアップフェスティバル (学習発表会) で幸ヶ谷の海について、全校児童、保護者、地域に発信を行う。</p> <p>3月 活動のまとめ冊子の作成</p>

平成 29 年 度	<p>○「高島水際線公園愛護会」の活動</p> <p>○「ハマの海を想う会」の活動への参加</p> <p>○総合的な学習の時間の授業において、幸ヶ谷の河川・海の生き物観察を中心とした活動</p>	4年生	<p>6月 上級生から活動を引継ぎ、「総合的な学習の時間」で、高島水際線公園で海の生き物観察、海水槽の管理などの活動を行う。</p> <p>幸ヶ谷の海に対する知っていることやイメージを出し合い、実際に調べたり、体験したりする前後で自分の考えにどのような変化があるかを確かめた。</p> <p>7月 高島水際線公園愛護会への参加</p> <p>主に高島水際線公園に関わる専門家や地域関係者との協同的な活動を行う。</p> <p>ゴミ拾いや水辺の生き物観察、魚釣り大会など、「ハマの海を想う会」の活動への参加</p> <p>野島宿泊体験学習 海の公園 生き物観察 横浜港湾空港技術調査事務所 人工干潟観察</p> <p>総合的な学習の時間での高島水際線公園 潮入りの池 生き物観察（通年）</p> <p>9月 高島水際線公園に行き、水辺の環境に関わる生き物を調査したり、水質調査を行ったりと、幸ヶ谷の海的环境について考えた。</p> <p>10月 クラスごとに幸ヶ谷の海のためにできることを考え実践を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリによる水質調査と改善を行った。 ・みんながもっと身近な海やそこに住む生きものと触れ合えるように、潮入りの池を囲む柵の扱いについて話し合ったり、提案したりした。 ・環境をよくするために小さなことから一人ひとりができること「MY 行動宣言」の実践・発信を行った。 <p>12月 ステップアップフェスティバル（学習発表会）で幸ヶ谷の海について全校児童、保護者、地域に発信を行った。</p> <p>1月 <u>幸ヶ谷小学校で飼育している一部の生き物だけでなく多様な生き物が住みやすいように、海水槽のリフォーム計画を行った。</u></p> <p>2月 活動のまとめ冊子作成</p> <p>3月 <u>横浜港湾空港技術調査事務所の「潮彩の海」の柵式の構造を参考に子どもたちが意見を出し合い、海水槽リフォームを行った。</u></p> <p><u>持続可能な海水槽の管理を考え、環境委員会（5・6年生）の海水槽の管理計画を行った。（次年度4月より開始）</u></p>
	平成 30 年 度	<p>○「高島水際線公園愛護会」の活動</p> <p>○「ハマの海を想う会」の活動への参加</p> <p>○総合的な学習の時間の授業</p>	4年生 環境委員会 (5・6年)

<p>において、幸ヶ谷の河川・海の生き物観察を中心とした活動</p> <p>○校内に海水槽の設置し、環境委員会として活動開始</p>		<p>物観察などの活動を行う。</p> <p>野島宿泊体験学習 海の公園 生き物観察 横浜港湾空港技術調査事務所 人工干潟観察</p> <p>7月 総合的な学習の時間での高島水際線公園 潮入りの池 生き物観察（通年）</p> <p>9月 高島水際線公園の環境を改善し、皆にもっと好きになってもらえるように、高島水際線公園に関わる専門家にインタビューを行う。</p> <p>自分たちができることを考え、「MY 行動」として各クラスでの活動を始める。</p> <p><u>幸ヶ谷の海を多くの人にもっと知ってもらいたい・好きになってもらいたいと、東京湾大感謝祭での発表の計画・準備を行う。</u></p> <p>10月 <u>東京湾大感謝祭 2018 ブース発表及び、ワンダーアクションカフェ出演。地域の海の魅力、本校の取り組み、環境省地球温暖化防止のための国民運動「COOL CHOICE」についての取り組みをプレゼンした。</u></p> <p><u>環境省国民運動「COOL CHOICE」普及啓発の実施及び情報発信のための映像作品に関する取材・撮影に協力。</u></p> <p>11月 クラスごとに幸ヶ谷の海のためにできることを考え実践を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島水際線公園の水辺の環境改善のため、葦の刈り取りを行った。また、持続可能な活動にするために刈り取った葦をよしず作りや工作に活用した。 ・横浜港湾空港技術調査事務所で幸ヶ谷の海の歴史や生き物を詳しく学ぶとともに、海水槽の生き物の多様性について調べ発信した。 ・高島水際線公園の水辺の環境改善のため、ヘドロの除去を行った。また、持続可能な活動にするために乾燥させてレンガ造りを行ったり、植物を育てるための肥料にしたりと、その活用法を実践した。 <p>12月 ステップアップフェスティバル（学習発表会）で幸ヶ谷の海について全校児童、保護者、地域に発信を行う。</p>
--	--	--

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
学内の生徒等や教員、保護者との関わり	ステップアップフェスティバル(学習発表会)	幸ヶ谷小学校では、毎年12月に全校参加の学習発表会を行っている。主に生活科・総合での各クラスの取り組みを、全校児童、保護者、地域の方々に向けて発信・紹介する。4年生では、「幸ヶ谷の海」をテーマに自分たちが学んだことを発表するとともに、幸ヶ谷の海を大切に、守っていくためにできることを参加した方々と対話を通して考えていく。

自治会・町内会との関わり	ステップアップフェスティバル(学習発表会)	上記同様、毎年12月に行われる学習発表会に地域の方々を招待し、4年生の「幸ヶ谷の海」についての取り組みを発表する。
学外団体との関わり	高島水際線公園愛護会 ハマの海を想う会 横浜国立大学 統合的 海洋教育・研究センター 侍従川に親しむ会	幸ヶ谷小学校は、西区みなとみらい6丁目にある高島水際線公園の愛護会に参加している。毎年4年生を中心に、生き物の観察やゴミ拾いなどの公園美化の活動を行っている。 また、同様に高島水際線公園愛護会の一員である「ハマの海を想う会」の活動に参加している。毎月第一土曜日に生き物の観察会やハゼ釣り大会が開催され、10人位の子どもの希望者が活動に参加している。 毎年、横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センターの方に来ていただき、高島水際線公園を作った経緯や生息する生き物について、4年生が講話をいただいている。 今年度は環境創造局の出前授業を活用し、「侍従川に親しむ会」の方に葦の特徴やその活用方法について4年生が講話をいただいた。
企業等との関わり	生き物コンサルタント ARU 笹川平和財団	以前より校内に海水槽を設置している。その管理をしていただくとともに、飼育する生き物や飼育の仕方を環境委員会の児童にアドバイスしていただいている。 また、平成28・29年度には、海洋教育パイオニアスクールに選ばれた。
行政との関わり	国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所 横浜市環境創造局	毎年4年生は、国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所で、東京湾の変遷の講話をしていただいたり、幸ヶ谷の海の生き物観察のフィールドワークを体験させていただいたりしている。 上記同様、今年度は環境創造局の出前授業を活用し、「侍従川に親しむ会」の方に葦の特徴やその活用方法について4年生が講話をいただいた。
その他、環境以外の分野との関わり		

4 団体の発足経緯、活動を始めたきっかけ

※ 立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

本校は学校全体でESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）に取り組んでいる。主な活動として、『横浜の時間』（総合的な学習の時間+各教科）において、各学年・各学級によりESDの視点を持ったテーマを設けて取り組んでいる。本校学区が横浜の中心部の臨海部にあることから、SDGsの17の視点のひとつでもある「14：海の豊かさをまもろう」への関心もあり、海の生き物の多様性や環境をテーマに学習活動を進めてきた。

そのなかで、幸ヶ谷小学校が「高島水際線公園愛護会」に参加したことをきっかけとし、4年生では、「幸ヶ谷の海」をテーマに、高島水際線公園内にある潮入の池を活用した活動を始めた。徐々に校内での他の活動や地域の団体などとも協同して取り組むようになり、活動を広げていった。市内で唯一の自然浜がある「野島」（横浜市金沢区）での宿泊体験学習、「ハマの海を想う会」の活動への参加、「国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所（横浜技調）・人工干潟」での学習を通して、身近にある横浜の海の生物多様性を実感し、愛着をもつとともに、全校で取り組むESD、持続可能性の視点から学習を深めていった。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

- ・高島水際線公園での活動を継続していく中で、児童は「幸ヶ谷の海にこんなに生き物がいるなんて思わなかった。」「たくさん生き物が観察できてうれしい」といった地域の生き物や自然に対する興味・関心をもつとともに、都市型河川の汽水域に生息する生物の多様性にも目を向けることができた。
- ・水際線公園の設計に携わった方、愛護会の方をゲストティーチャーに招き、生き物やその環境と人々の関わりについて講話をいただくことで、児童は「自分たちが住む町の海をきれいにしたい」、「みんなに幸ヶ谷の海を好きになってもらえば、もっと海を大切にしてくれる」という思いをもって活動するようになった。自分達の興味・関心の活動から、地域の環境に関わる活動・実践へと高まっていった。
- ・ステップアップフェスティバル（学習発表会）では、それぞれのブースの「すてきポイント」を中心に、児童が学習してきたことを伝え、来てくださった方々と「MY 行動宣言」、「高島水際線公園潮入りの池の柵」、「遊び方のマナー」について意見交換を行った。ゲストティーチャーでお世話になったハマ海会の代表やメンバーの方々、横浜技調の職員の方、地域の方にも意見をいただき、様々な立場の多様な考えにふれることができたことで、物事を多面的に見ることの大切さを理解した。
- ・海水槽を設置したことにより、他学年の児童が幸ヶ谷の海の生き物に関わる機会が増えるとともに、継続して飼育、観察をする中で生命を尊重する思いが養われた。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

※取組の中で、生物多様性に関するものを記入してください。

（1 ページ「生物多様性特別賞について」に事例を記載しています。）

平成28年度の9月ごろまでは海水槽がなく、高島水際線公園の生物の観察を行ったり、捕ってきたカニなどの生き物を簡易的な水槽で飼ったりしていた。しかし、簡易的な水槽では生き物が死んでしまうため、継続的な観察が難しかった。子どもたちは「生き物を大切にしたい。」「大事に育てたい。」という気持ちがあったが、なかなか思い通りにならず、生き物が死んでしまうことに葛藤を感じていた。

そのような時期に以前から計画されていた海水槽が幸ヶ谷小学校に設置された。子どもたちは「きちんと飼育の仕方を学び海水槽で育てたい。」「次の学年に飼育の仕方を引継ぎこれからも大切に育てていきたい。」という思いをもち、海水槽での飼育を始めた。

現在、海水槽は子どもたちの活動の拠点となっている。環境委員会での活動では、海水槽を使った常時活動が立ち上がった。給餌・清掃などの当番活動を行うとともに、生き物の継続的な観察を行ったり、生き物の紹介カードを作成したりと、自分達だけでなく学校の皆が、海水槽の生き物と関わることができるように取り組んでいる。また、毎年4年生が高島水際線公園で年間を通して活動を行っており、そこで捕ってきた生き物を飼育している。継続観察を行うことで、ただ、図鑑で得た知識と違い、同じ種類の魚でも積極的な個体やのんびりしている個体など、その違いにも気づけるようになった。また、魚類だけでなく貝類や甲殻類、稚魚など、海の生物それぞれと一緒に飼育できるよう数のバランスに気を付けたり、住処を作って住みやすい環境にしたり、海水槽をリニューアルしたりと、それぞれの生き物を大切にしたい飼育環境も、日々考えていくことができるようになった。

幸ヶ谷小学校の子どもたちが、海水槽を中心として、日常的に海の生き物と関わられるようになったことで、生き物と大切にしたい心情と実感の伴った知識を身に付けていくことができている。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

- ・活動継続のために、学校として継続して「幸ヶ谷の海」をテーマに環境教育を行っていく良さを価値付ける。
- ・カリキュラムや活動記録を残すことで、毎年4年生を中心とした活動を行い持続可能な活動にする。
- ・総合的な学習の時間では、物事を多面的に見る力やそのものよさを見つける力が身についてきたように感じるが、まだまだ日常生活や他教科で発揮していくことに課題がみられる。その面を今後の発展的課題とし、他教科や生活場面との関連を考え、身に付けた力を汎用的に使う場面を意識していたり、カリキュラムに組み込んだりすることで意図的に取り組む必要がある。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

- ・「幸ヶ谷の海」をテーマとして、多くの方々と関わって活動できていること。
- ・海水槽を中心とした生き物とのふれ合いが継続的に行われていること。
- ・「幸ヶ谷の海は近くにあるけどふれたことがない」「生き物はいない」と思っていた児童が、生き物・地域の方々・環境との関わりの中で、生き物の多様性やその環境に対する自身の考えを大きく変容させていること。
- ・E S D教育に取り組むことで、「多面的・総合的に考える力」や「つながりを尊重する態度」など、持続可能な社会づくりの担い手として、E S Dの視点に立った能力・態度が培われたこと。

野島宿泊体験学習 海の公園 生き物観察



横浜の海に生息する生き物に触れ、海の楽しさや大切にしていきたいという思いをもった。また、自分たちが住む幸ヶ谷の海と比較し考えることで興味・関心が高まった。

横浜港湾空港技術調査事務所 人工干潟観察



横浜港湾空港技術調査事務所は、人工干潟で環境調査、生態調査等を行っている。東京湾の海の歴史や海洋汚染についての講話を聞き、人工干潟の「潮彩の渚」では生き物調査を行った。

海の汚れは家庭から出る生活排水が原因になっていること、それをきれいにするために小さな生き物達が重要な役割を果たしていること、自分達が住む幸ヶ谷の海にもたくさんの生き物がいることを知った。

子どもたちは、毎年、幸ヶ谷や東京湾の海の歴史や生き物について学び、高島水際線公園での生き物調査や海水槽での飼育で、その経験を生かしている。

潮入りの池 生き物観察



高島水際線公園は、都市の中においても豊かな自然を身近に感じることができる公園である。

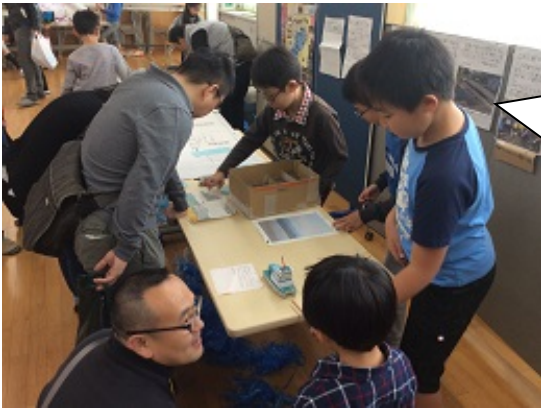
「潮入りの池」で生き物調査を行う傍ら、ごみが落ちていることに気付き、清掃活動も行った。

また、公園愛護会の「ハマの海を想う会」の活動にも参加し、一緒にボランティア活動を行ったり、エビ釣りやハゼ釣りを行ったりしている。

ゲストティーチャーによる講話



高島水際線公園のことや海のことについてももっと知りたいと思い、ハマの海を想う会の代表者や高島水際線公園の設計に携わった方、海水槽を作った方から、お話を伺った。高島水際線を作った経緯やその思い、また、「もっと海で遊びたい」、「海のために何かしたい」、「人と海が近い場所を作りたい」などの海に関わることへの想いを聞き、自分達と同じ思いをもっていることに気付き、自分達の海に対する想いも広めていきたいという思いをもった。



それぞれが思う幸ヶ谷の海のすてきなポイントを伝え、来ていただいた地域の方や保護者、他学年の児童と一緒に海のことについて考えたり意見交換したりした。こどもたちは、来ていただいた方からの意見を聞き、今まで自分たちでは気づかなかったことや知らなかったことに気づき、これからの総合への意欲にもつながった。

海水槽リフォーム前



5年生から世話の仕方や、海水槽を作った方の話を聞いたことで、積極的に海水槽の世話をする児童が増えていった。

幸ヶ谷小学校の友達が、これからも海水槽に親しんでいけるように、現在の海水槽のすてきなポイントと、これから付け加えたい海水槽のすてきなポイントについて意見を出し合い、海水槽のリフォームを行った。また、都市型の海で生きてきた水辺の生き物に合わせた環境を考え、国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所の人工干潟に採用されている砂地の棚式構造を参考にした。



海水槽リフォーム後



東京湾大感謝祭での発表の様子（ワンダーアクションカフェでのステージ発表）



街の暮らしから、わたしたちでもできること。
WONDER ACTION CAFÉ
 会場 横浜赤レンガ倉庫広場・WONDER ACTION CAFÉハビリアン 入場 無料

2018.10.20 (土)	21日
10:00 サンゴ礁に住む生き物たち 映像上映 13:00 特別企画 海にいいこと、やさしいこと、考えよう! WONDER ACTION CAFÉ 東京2020 公認プログラム 13:30 >>> OPENING TALK (オープニングトーク) 東京湾再生と東京2020プログラムについて 15:00 >>> PRESENTATION (プレゼンテーション) 子供たちからのメッセージ ~幸ヶ谷の海~ 漁業を通じてみる東京湾の今 ~シマコ漁を例に~ 生き物のつながりと変化を調べてみよう 未来の天気予報を見て、今日からあんなにCOOL CHOICE! 自然が大好きなアニキが語る「都市の海、東京湾と釣り・さかな!」 >>> CROSS TALK (クロストーク) 海にいいこと、環境にいいことワンダー宣言!	10:00 サンゴ礁に住む生き物たち 映像上映 11:30 女子高生が社会を変える 女子高生エコトーク 出演: Blue Earth Project 12:00 特別企画 海にいいこと、やさしいこと、考えよう! WONDER CORAL CAFÉ 旧部 サンゴ礁を2018 スベジカルプロジェクト 13:15 >>> OPENING TALK (オープニングトーク) サンゴってなに? サンゴクイズ~ 15:00 >>> PRESENTATION (プレゼンテーション) サンゴ礁をまもろう! 私たちの取り組み 雷風箱・SAVE the BLUE プロジェクト サンゴ礁をまもろう! 私たちの取り組み サンゴにやさしい日焼け止めプロジェクト 地球温暖化と私たちの暮らし ~サンゴを守るために私たちは何ができるのか?~

東京湾大感謝祭での発表の様子（ブース発表）



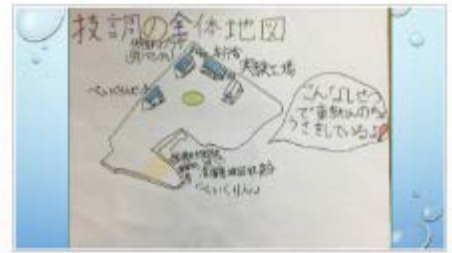
幸ヶ谷の海をもっといろんな方に知ってもらいたいと2018年10月20日、21日 東京湾大感謝祭2018 ブース発表及び、ワンダーアクションカフェ出演。地域の海の魅力、本校の取組、環境省地球温暖化防止のための国民運動「COOL CHOICE」についての取組をプレゼンした。自分たちのこれまでの活動を改めて振り返る良い機会となった。また、他団体の活動にふれることで、自分たちの活動を俯瞰的に捉え直し、その重要性を実感する機会にもなった。



1



2



3



4



5



6



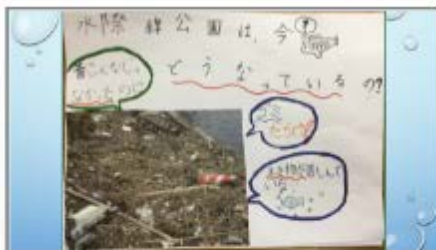
7



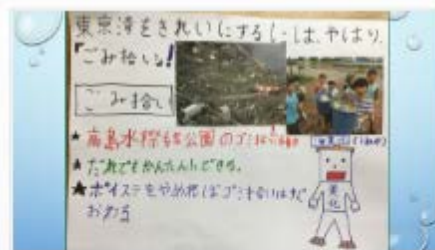
8



9



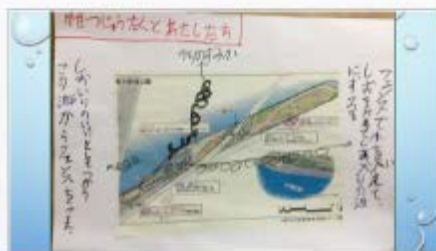
10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



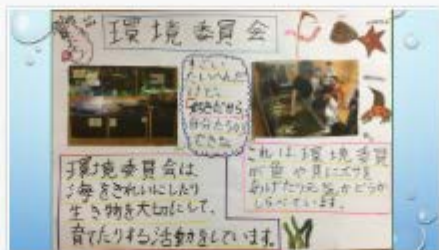
20



21



22



23



24

東京湾大感謝祭・ブース発表資料

わたしたちの幸ヶ谷の海

幸ヶ谷の海は東京湾の一部です。
横浜の街の中心にある幸ヶ谷の海にも、
実は干潟がありそこにはたくさんの生
き物が暮らしています。そしてたくさんの人が
関わっています。

○海のご歴史

～昭和初期～
昔は人口が少なく生き
物の宝庫で海は、ま
れにおいでました。

～昭和中期～
人口が増えてゴミがさ
かんになりどんどん海
がきれいにならなくな
りました。

○幸ヶ谷の海

横浜港湾空港技術調査事務所

ベレリア 潮鉋の海 実験水槽 4年生が作り上げたこ

高島水際線公園

池には干潟が約100
メートルあり、水の深さなど
生き物の住みやすい工夫
がなされています。

しかし、昔から人
が多い公園のため
生き物のすみか
として生息する
生き物のすみか
がなくなっています。

1. 魚類
2. 貝類
3. 藻類
4. 植物

○水がわっている人

志野 也
百歩の海釣り
大釣り大会など
海を遊べる場所を
作って海をきれいな
にしたいと思って
ハマ海苔をつくりました。

古川 けいたん
先ずは海苔にしたい思
い、ハマ海苔をつく
りたい。海苔の生
き場をきれいにし
て、海苔の生かす
場をきれいにし
て、海苔の生かす
場をきれいにし

もっとうぼう

ハマの海

○幸ヶ谷小学校

これまで

1期 高島水際線公園
や横浜港湾空港
技術調査事務所
のことなどにつ
いて、紹介して
ります。

2期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

3期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

4期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

5期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

6期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

7期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

8期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

9期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

10期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

11期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

12期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

13期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

14期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

15期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

16期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

17期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

18期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

19期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

20期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

21期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

22期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

23期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

24期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

25期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

26期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

27期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

28期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

29期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

30期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

31期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

32期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

33期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

34期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

35期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

36期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

37期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

38期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

39期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

40期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

41期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

42期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

43期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

44期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

45期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

46期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

47期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

48期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

49期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

50期 幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、幸
ヶ谷の海をつか
まえた生き物が住
みやすい場所をつ
くっています。

野島宿泊体験学習 海の公園 生き物観察



横浜の海に生息する生き物に触れ、海の楽しさや大切にしていきたいという思いをもった。また、自分たちが住む幸ヶ谷の海と比較し考えることで興味・関心が高まった。

横浜港湾空港技術調査事務所 人工干潟観察



横浜港湾空港技術調査事務所は、人工干潟で環境調査、生態調査等を行っている。東京湾の海の歴史や海洋汚染についての講話を聞き、人工干潟の「潮彩の渚」では生き物調査を行った。

海の汚れは家庭から出る生活排水が原因になっていること、それをきれいにするために小さな生き物達が重要な役割を果たしていること、自分達が住む幸ヶ谷の海にもたくさんの生き物がいることを知った。

子どもたちは、毎年、幸ヶ谷や東京湾の海の歴史や生き物について学び、高島水際線公園での生き物調査や海水槽での飼育で、その経験を生かしている。

潮入りの池 生き物観察



高島水際線公園は、都市の中においても豊かな自然を身近に感じることができる公園である。

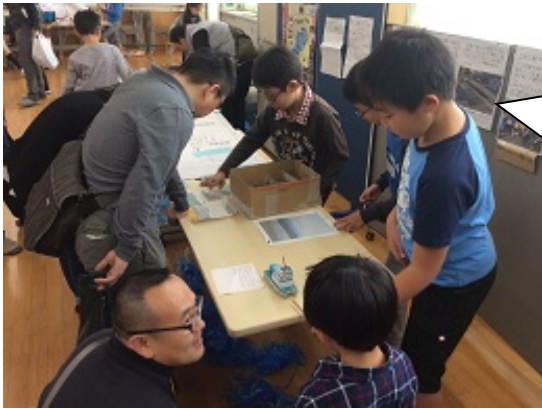
「潮入りの池」で生き物調査を行う傍ら、ごみが落ちていることに気付き、清掃活動も行った。

また、公園愛護会の「ハマの海を想う会」の活動にも参加し、一緒にボランティア活動を行ったり、エビ釣りやハゼ釣りを行ったりしている。

ゲストティーチャーによる講話



高島水際線公園のことや海のことについてももっと知りたいと思い、ハマの海を想う会の代表者や高島水際線公園の設計に携わった方、海水槽を作った方から、お話を伺った。高島水際線を作った経緯やその思い、また、「もっと海で遊びたい」、「海のために何かしたい」、「人と海が近い場所を作りたい」などの海に関わることへの想いを聞き、自分達と同じ想いをもっていることに気付き、自分達の海に対する想いも広めていきたいという思いをもった。



それぞれが思う幸ヶ谷の海のすてきなポイントを伝え、来ていただいた地域の方や保護者、他学年の児童と一緒に海のことについて考えたり意見交換したりした。こどもたちは、来ていただいた方からの意見を聞き、今まで自分たちでは気づかなかったことや知らなかったことに気づき、これからの総合への意欲にもつながった。

海水槽リフォーム前



5年生から世話の仕方や、海水槽を作った方の話を聞いたことで、積極的に海水槽の世話をする児童が増えていった。

幸ヶ谷小学校の友達が、これからも海水槽に親しんでいけるように、現在の海水槽のすてきなポイントと、これから付け加えたい海水槽のすてきなポイントについて意見を出し合い、海水槽のリフォームを行った。また、都市型の海で生きてきた水辺の生き物に合わせた環境を考え、国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所の人工干潟に採用されている砂地の棚式構造を参考にした。



海水槽リフォーム後



東京湾大感謝祭での発表の様子（ワンダーアクションカフェでのステージ発表）



街の暮らしから、わたしたちでもできること。
WONDER ACTION CAFE
 会場 横浜赤レンガ倉庫広場・WONDER ACTION CAFEハビリアン 入場 無料

2018.10.20 (土)	21日
10:00 サンゴ礁に住む生き物たち 映像上映 13:30 特別企画 海にいいこと、やさしいこと、考えよう! WONDER ACTION CAFE 東京2020 公認プログラム 15:00 >>> OPENING TALK (オープニングトーク) 東京湾再生と東京2020プログラムについて 司会 榎太一さん (環境省自然環境政策局自然環境課長) 萩原智子さん (シニア編集、環境日本代表) ONLY >>> PRESENTATION (プレゼンテーション) 子供たちからのメッセージ ~幸ヶ谷の海~ 横浜市立幸ヶ谷小学校のみなさん 漁業を通じてみる東京湾の今 ~シマコ漁を例に~ 岡部 久さん (神奈川県水産技術センター) 生き物のつながりと変化を調べてみよう 河野隆宏さん (環境省自然環境政策局自然環境課長) 未来の天気予報を見て、今日からみんなでCOOL CHOICE! 梶原智子さん (環境省自然環境政策局自然環境課長) 自然が大好きなアニキが語る「都市の海、東京湾と釣り・さかな!」 眞川博樹さん (シレント、釣り人) ONLY >>> CROSS TALK (クロストーク) 海にいいこと、環境にいいことワンダー宣言!	10:00 サンゴ礁に住む生き物たち 映像上映 11:30 女子高生が社会を変える 女子高生エコトーク 出演: Blue Earth Project 12:00 特別企画 海にいいこと、やさしいこと、考えよう! WONDER CORAL CAFE 旧 都 道 2018 スペシャルプログラム 13:15 >>> OPENING TALK (オープニングトーク) サンゴってなに? サンゴクイズ~ 司会 渡辺未加さん (環境省自然環境政策局) 特別ゲスト 水村 尚さん (環境省自然環境政策局) >>> PRESENTATION (プレゼンテーション) サンゴ礁をまもろう! 私たちの取り組み ① ② ダイバーにできること、学んだこと ③ NAUI (PADI, BSAC, SSI) サンゴ礁をまもろう! 私たちの取り組み ① ② サンシャイン水族館 サンゴ礁をまもろう! 私たちの取り組み ① ② サンゴにやさしい日焼け止めプロジェクト ③ ジーエール一合同会社 地球温暖化と私たちの暮らし ~サンゴを守るために私たちは何ができるのか?~ 梶原智子さん (NPO法人 気象キャスターネットワーク代表)

東京湾大感謝祭での発表の様子（ブース発表）



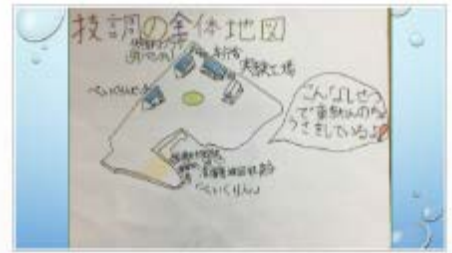
幸ヶ谷の海をもっといろんな方に知ってもらいたいと2018年10月20日、21日 東京湾大感謝祭2018 ブース発表及び、ワンダーアクションカフェ出演。地域の海の魅力、本校の取組、環境省地球温暖化防止のための国民運動「COOL CHOICE」についての取組をプレゼンした。自分たちのこれまでの活動を改めて振り返る良い機会となった。また、他団体の活動にふれることで、自分たちの活動を俯瞰的に捉え直し、その重要性を実感する機会にもなった。



1



2



3



4



5



6



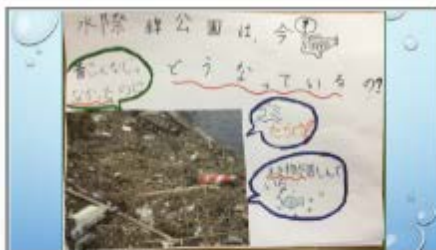
7



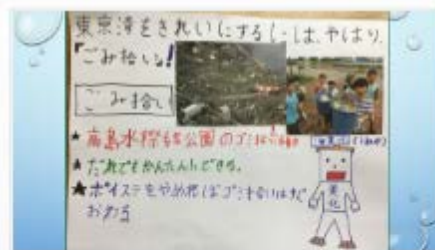
8



9



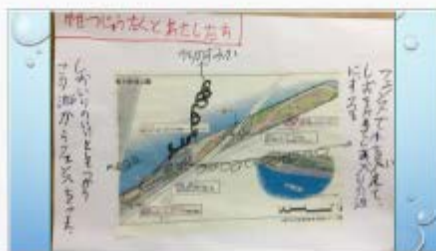
10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



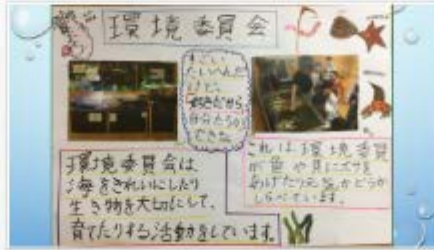
20



21



22



23



24

東京湾大感謝祭・ブース発表資料

わたしたちの幸ヶ谷の海

幸ヶ谷の海は東京湾の一部です。
横浜の街の中心にある幸ヶ谷の海にも、
実は干潟がありそこにはたくさんの生
き物が暮らしています。そしてたくさんの方が
関わっています。

○海のごとの歴史

〜昭和初期〜
昔は人口が少なく生き
物の宝庫で海は、ま
るいにおいででした。

〜昭和中期〜
人口が増えてゴミがさ
かんになりどんどん海
がきれいにならなくな
りました。

〜令和初期〜
自然再生の取り組みが
進み、生き物も戻り
始めています。

幸ヶ谷の海
横浜港湾空港技術調査事務所

パレリア **潮溜り場** **実験水槽** **4年生が作り出したこ**

高島水際線公園

池には千代紙が舞う
べの彩雨。水の澄みさ
生き物も住みやすいエス
がめでこの生き物の宝
庫。

しかし、昔はこんな
人が公園の外
にはなかった
学校の園芸部
として生き物の
宝庫をつくっ
ていきました。

1年生
2年生
3年生
4年生
5年生

水がかわっている人

志野 也
百瀬川は昔は釣り
の大舞台です。こ
海を渡る場所を
橋で渡ると、きれいな
水が流れていて、
ハマの海をわたり、
ハマの海を再生して、
また、やってきました。
スコークン

もっとうぼう
ハマの海

幸ヶ谷小学校
これまで

パンフレット 高島水際線公園
や横浜港湾空港
技術調査事務所
のことなどにつ
いて、紹介して
ります。

海水槽

環境委員会

幸ヶ谷の海を再現
した水槽です。皆
の手助けで、こ
海の海をつかま
えた生き物が住
みやすい場所をつ
けています。

1階 高島水際線公園の
海の再生の歴史を
知ることができます。
また、

2階 幸ヶ谷の海の
再生の歴史を
知ることができます。
また、

3階 高島水際線公園の
海の再生の歴史を
知ることができます。
また、

MY行楽広場

高島水際線公園での
自然再生の取り組み
について、紹介して
ります。

スコープ **フエスデュバル**

水際線公園の生き
物を観察している
人を紹介し、来て
くれた人に海が環
境のことを、と
わたり、わたり、
わたしたちがや
ることを実行して
もらいます。

写真 **フエスデュバル**

写真として、海水
槽の再生をして、
生き物の大切さを
知ってもらいたい
という思いをも
って活動をしていま
す。